

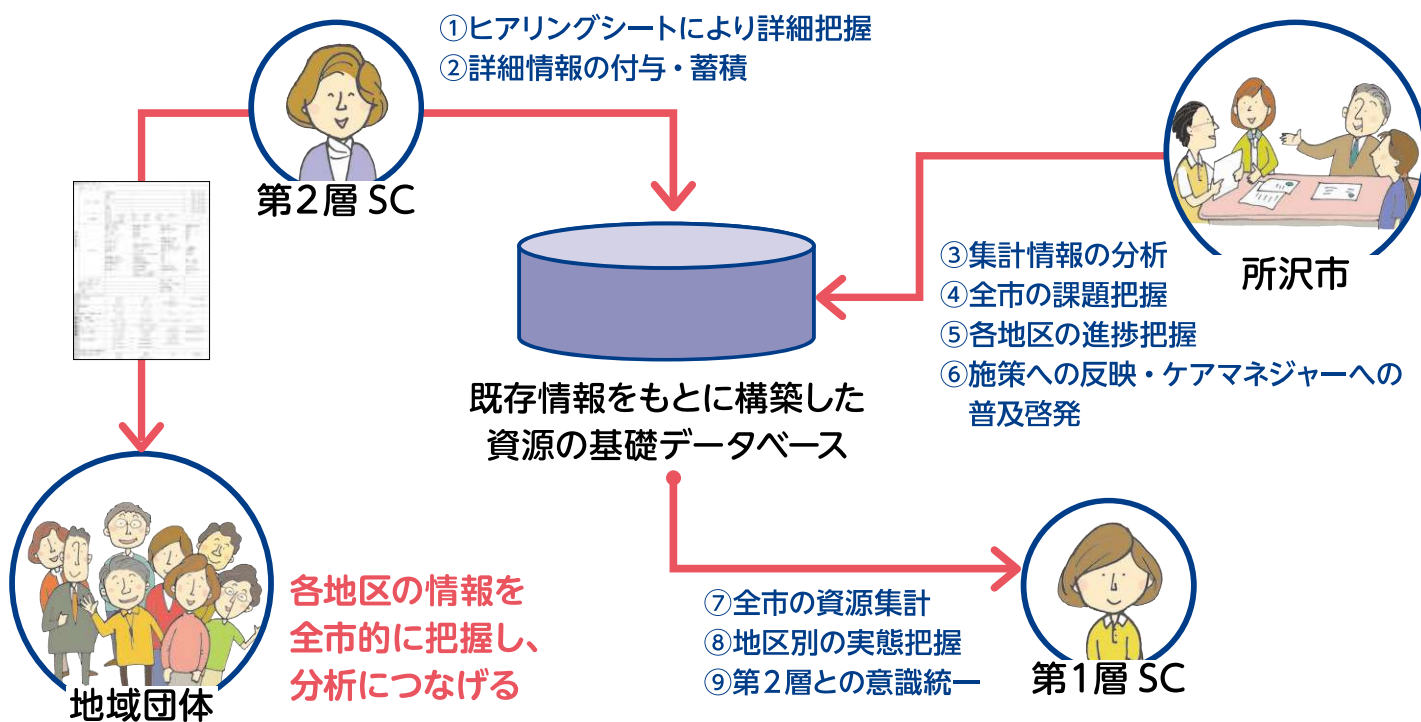
## 行政機関向け地域資源管理サービス 「サービス情報共有ページ」の導入事例

・ 社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会（所沢市委託）

### 生活支援体制整備事業の推進に必要な地域資源情報の データベース化について

所沢市の生活支援体制整備事業の推進においては、各地域の地域資源情報を第2層生活支援コーディネーターを中心に情報収集を行っている。全市共通のデータベース※に情報を蓄積することで、市及び第1層生活支援コーディネーターは全市、地区別の実態を把握している。

#### 所沢市での地域資源データベース運用に関する概要



#### 課題

14 地区からの情報集約に労力がかかり、年1回にしか全市的な情報把握ができていなかった。

#### 効果

集約を自動化することで、リアルタイムに地域の資源の状況を見通すことができるようになった。

#### 【生活支援コーディネーター配置先】

第1層生活支援コーディネーター：所沢市社会福祉協議会

第2層生活支援コーディネーター：市内地域包括支援センター（14 箇所）

## データベースの導入の経緯

これまで、所沢市では公表を前提として情報を集約していたため、補助金の対象団体などを中心に把握しており、団体から公表許諾が得られない活動や立ち上げ中の活動の情報は部分的にしか把握できていなかった。

今回の生活支援体制整備事業では、地域に不足する資源の開発が求められるため、それらの情報を把握するだけでは、地域の実態を把握することができない事情もあり、地域資源の情報把握の方法を再検討することとなった。

## 生活支援コーディネーターが訪問調査で得た情報を全市で共有

まず、情報の管理手法をアナログ媒体から電子媒体へ切り替えることで、情報集約の連絡などの負担を削減し、各担当が情報を更新すれば、相互に最新の情報を閲覧できる環境を構築した。

なお、非公表の情報や地域密着型の活動情報などを掲載することは難しいため、公開用のページではなく、市と生活支援コーディネーターだけがアクセスできるクローズの媒体を選択した。

市と第1層生活支援コーディネーターが中心となり、既存の基本情報でデータベース化を行い、地域アセスメントやマッチングに必要な情報項目を協議し、全市的に把握していくべき情報内容を決定した。

その内容をもとに調査票を作成し、第2層生活支援コーディネーターが改めて、各地区の団体やグループ、企業を訪問し、詳細な活動内容や団体が抱える課題のヒアリング調査を実施した。

ヒアリング調査で把握した情報を各コーディネーターがデータベースへ反映することで、市内の団体の「活動頻度」や「抱える課題」、「参加者数」などの詳細情報が蓄積され、市と第1層生活支援コーディネーターは全体的な地域活動・サービスの傾向を把握することに成功した。

また、クローズのデータベース導入前は、市が把握する資源の情報件数は約200件程だったが、非公表の団体情報などが第2層生活支援コーディネーターにより登録されたこともあり、市として、新規で約150件の情報を把握することができた。

## 今後の展望 ～情報のオープン化・団体支援記録の蓄積～

現状は地域資源の情報に特化した形で、情報共有を行っているが、今後は各団体に対する地域支援経過や訪問記録の媒体としても、情報を統合していくことを検討している。さらには、内部で蓄積した情報をケアマネジャーを中心に情報提供していくことで、ご利用者に介護サービスだけでなく、インフォーマル資源を有効活用してもらうことができるような環境を整備していきたいと考えている。

### 埼玉県 所沢市

所在地：埼玉県所沢市泉町 1861-1  
人口：344,470人（平成30年7月末日現在）  
[関連部局]  
所沢市社会福祉協議会 地域福祉推進課

Ayumuサイトは...

カシオ アヤム

検索

or

<https://chiiki-kaigo.casio.jp>



お問い合わせ

経営統轄部 ウェルフェアソリューション推進室

**03-5334-4285** (代)

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝祭日、年末年始など弊社指定休業日を除く）

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2  
Ayumu サポートセンター TEL 03-5396-7461